

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況(技術情報第4号)について(送付)

このことについて、トビイロウンカ、コブノメイガの飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカ、コブノメイガともに、梅雨時期の飛来量は過去10年で最も少なかった。  
しかし、今後の気温は高い予報で、増殖が高まる可能性があるため、ほ場での発生状況に注意し、適期防除に努める。

1 飛来状況

(1) トビイロウンカ

合志市に設置した予察灯では、5月11日の初飛来(1頭)以降、現在まで誘殺はない(表1)。6月~7月第3半旬までの誘殺は平成27年(2015年)と同じく、過去10年で最も少なかった(表2)。

(2) コブノメイガ

合志市に設置したフェロモントラップでは、6月28~30日の初飛来から断続的に誘殺されている。初飛来から現在までの日毎の誘殺数は、6月28~30日(3頭)が最も多かった(表1)。6月~7月第3半旬までの誘殺数は、5頭(平年89頭)と過去10年で最も少なかった(表3)。

2 発生状況

(1) 7月上中旬に実施した阿蘇、上益城、球磨、天草地域における巡回調査では(早期4月移植、早植え5月移植、調査ほ場数16)、トビイロウンカ(成虫及び幼虫)が早期の1ほ場で確認され、1株当たり頭数は0.03頭(平年0.13頭)と平年比やや少の発生であった。また、コブノメイガは7ほ場(早期4、早植え3)で確認され、1株当たり葉巻数は0.05葉(平年0.25葉)と平年比やや少の発生であった。なお、早期の2ほ場では、6月上中旬に被害が確認されていた。

(2) 合志市に設置した無防除水田(5月15日移植)では、6月から7月中旬までの間、トビイロウンカ(成虫及び幼虫)は確認されておらず(1株当たり累積頭数:平年0.41頭)、平年比やや少の発生であった。

2 防除対策

(1) セジロウンカの多飛来を確認した6月27日(表1)を起点にトビイロウンカの防除適期を算出した(表4)。若齢幼虫期(1~2齢)の防除が最も効果が高いため、本田内の発育ステージを観察して防除を行う。

- (2) 今後の気象状況によって、**防除適期は随時変動する**。防除計画に当たっては、最新の情報を病害虫防除所のホームページで確認する。
- (3) 本田内でトビイロウンカの発生密度を観察する際は、他のウンカ類（セジロウンカやヒメトビウンカ）も発生している時期であることから、各害虫種の見分け方を理解したうえで、払落し法（株元を叩き、水面もしくは株に沿わせた板上に落ちた虫を計数する）によって観察する。
- (4) トビイロウンカの飛来量は地域やほ場、増殖量は品種や箱施用剤の種類によって異なる。発生時期毎の要防除水準（成虫と幼虫を合わせた頭数）は、7月中旬～8月上旬では20頭/100株、8月中下旬では100頭/100株または収穫30日前では300頭/100株である。本田内の発生密度を定期的に観察し、要防除水準を超えた場合は（1）によらず至急防除を行う。
- (5) 薬剤感受性が低下している薬剤の使用を避ける（トビイロウンカ：令和7年（2025年）3月11日付け技術情報第17号参照、<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/275008.pdf>）。
- (6) トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように十分量を丁寧に散布する。
- (7) コブノメイガの防除適期を飛来状況から、初飛来を確認した6月30日を起点に算出した（表5）。ただし、一部のほ場では6月上中旬頃から発生が確認されているため、防除適期を逃さないよう注意する。
- (8) コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期の1週間後）である。水田における発生状況を確認し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率が20%以上）を超える場合は防除を行う。
- (9) 農薬の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに周辺作物や有用昆虫、魚介類等の環境に影響がないよう飛散（ドリフト）防止に努める。付近にミツバチの巣箱が設置してあるほ場では、事前にその管理者に連絡する等、農薬による危害防止に努める。

※今後の発生状況、防除適期や対策については、熊本県病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載します。

表1 R7予察灯、フェロモントラップにおける海外飛来性害虫の誘殺状況（合志市）

月/日	トビイロウンカ	セジロウンカ	コブノメイガ	月/日	トビイロウンカ	セジロウンカ	コブノメイガ
5/11	1	0	設置前	6/25	0	17	0
5/11~6/9	0	0	0※6/1開始	6/26	0	5	0
6/10	0	1	0	6/27	0	85	0
6/11	0	3		6/28	0	17	3
6/12	0	0	0	6/29	0	7	
6/13	0	0	0	6/30	0	4	
6/14	0	2	0	7/1	0	11	0
6/15	0	0		7/2	0	1	0
6/16	0	0		7/3	0	3	0
6/17	0	4	0	7/4	0	6	0
6/18	0	1	0	7/5~11	0	0	0
6/19	0	5	0	7/12	0	0	1
6/20	0	2	0	7/13	0	2	
6/21	0	0		7/14	0	0	
6/22	0	1		7/15	0	0	1
6/23	0	5	0	7/16	0	0	0
6/24	0	28	0				

※ウンカ類は予察灯、コブノメイガはフェロモントラップによる調査。数値は頭数。

表2 予察灯におけるトビイロウンカの半旬別誘殺数（合志市）

月 半旬	6月						7月						計※
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
H27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
H28	0	0	0	0	0	1	0	0	34	4	3	0	35
H29	0	0	0	0	1	0	0	4	7	0	0	0	12
H30	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	5
R1	0	0	1	0	0	1	27	2	49	12	4	2	80
R2	0	7	0	0	0	2	226	402	119	2	7	17	756
R3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
R4	0	0	0	0	0	8	0	7	2	73	2	5	17
R5	0	0	0	0	0	0	32	1	3	0	1	0	36
R6	0	0	0	0	17	1	106	0	0	3	1	2	124
平年値 (H27~R6)	0	1	0	0	2	1	39	42	21	9	2	3	107
R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0

※6月～7月第3半旬までの合計

表3 フェロモントラップにおけるコブノメイガの半旬別誘殺数（合志市）

月 半旬	6月						7月						計※
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
H27	0	0	0	0	4	26	23	37	9	15	35	14	99
H28	0	0	0	0	0	20	3	8	6	0	4	13	37
H29	0	0	0	0	0	5	8	9	3	4	3	6	25
H30	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1	2	0	6
R1	0	6	16	7	2	0	5	7	5	19	1	7	48
R2	0	1	6	51	383	47	36	44	63	108	70	60	631
R3	0	0	0	0	0	1	2	0	8	1	0	0	11
R4	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	0	1	8
R5	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	7
R6	0	0	0	1	0	4	8	1	1	0	6	5	15
平年値 (H27~R6)	0	1	2	6	39	11	10	11	10	15	12	11	89
R7	0	0	0	0	0	3	0	0	2	-	-	-	5

※6月～7月第3半旬までの合計

表4 R7予想されるトビイロウンカの防除適期※  
6月27日飛来

地点名	第1世代幼虫	第2世代幼虫
熊本	7月13～24日	8月10～21日
三角	7月14～25日	8月11～22日
岱明	7月13～24日	8月10～21日
鹿北	7月14～26日	8月14～26日
菊池	7月13～25日	8月11～22日
阿蘇乙姫	7月16～29日	8月19日～9月2日
甲佐	7月14～26日	8月12～23日
八代	7月13～24日	8月10～21日
水俣	7月14～25日	8月11～22日
人吉	7月14～26日	8月13～24日
本渡	7月14～25日	8月12～22日

※各地点のアメダスデータ平均気温（本年値及び平年値）をもとに、下記の条件による有効積算により発育ステージを予測した。7月17日までは2025年実測の平均気温、7月18日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢～5齢幼虫の期間

表5 R7予想されるコブノメイガの防除適期※  
6月30日飛来

地点名	第1世代発蛾最盛期 ※粒剤防除適期	第2世代若齢幼虫期 ※粉剤・液剤防除適期
熊本	7月29日～8月1日	8月5～8日
三角	8月1～4日	8月8～11日
岱明	7月29日～8月1日	8月5～8日
鹿北	8月2～5日	8月9～12日
菊池	7月31日～8月3日	8月7～10日
阿蘇乙姫	8月7～11日	8月14～18日
甲佐	8月1～4日	8月8～11日
八代	8月1～4日	8月8～11日
水俣	8月1～4日	8月8～11日
人吉	8月2～5日	8月9～12日
本渡	8月1～4日	8月8～11日

※各地点のアメダスデータ平均気温（本年値及び平年値）をもとに、下記の条件による有効積算により発育ステージを予測した。7月17日までは2025年実測の平均気温、7月18日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

熊本県病虫害防除所  
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)  
担当：守田 TEL 096-248-6490